

国語科 小学校 1年

単元名 こえにだしてよもう
「くじらぐも」

本時の流れ(第5時)

本時の目標

声に出して読んだり動作化をしたりして、子どもたちとくじらぐもの様子を読み取る。

【めあて】

子どもたちが、くじらぐもとびのったとき
のようすをおもいうかべながらよもう。

前時までの振り返り
くじらぐもに飛び乗ろうと張り切っていた子どもたちの様子

本時のめあてを確認
本時のめあてと学習の進め方を理解する。

応援するくじらとみんなで
一斉に力を合わせて飛び乗る子
どもたちの様子をとらえる。

学習の足跡や挿絵を使いながらどのような
場面だったのか思い出す。

音読・第3場面の読み取り
子どもたちがくじらぐもに飛び乗る様子を読み取る。

学習の進め方を提示し、児童に見通しを持
たせる。

「子どもたちが、くじらぐもに飛び乗ったときの
様子を思いうかべながら読もう。」

- ① 文章からその時の様子を見つける。
○子どもたちがジャンプしたから
○くじらが応援したから
○風が吹き飛ばしたから
○みんなで協力したから

飛んだ高さに着目することで、子どもたち
の気持ちの高まりやくじらぐもの応援する気
持ちの高まりに気付かせる。

② 動作化する。

③ くじらぐもに飛び乗れた子どもたちの様子か
ら想像した言葉などを吹き出しに書いて、発表
する。

風が吹き飛ばしただけでなく、飛び乗れた
理由を他にも想像させる。自力、ペアで交
流、全体交流の順で左記の4点を確かに読み
取らせる。

④ 学習のまとめとして、地の文と会話部分を役
割読みする。

役割を決めて動作化させることにより、子
どもたちやくじらぐもの様子を想像させる。
話の世界に浸りやすいようにくじらのお面、
台、児童に体育帽子を被らせるなど工夫す
る。

書く前に、参考になるような吹き出しの内
容を1・2名に発表させる。それぞれが書い
た後、書いたものを交流させる。

評価問題

相互評価・次時予告

- ・ 第3場面の音読を聞き合い、良い点を互いに評価し合
う。(相互評価)
- ・ 語のまとまりに気を付けて、本時で読み取った様子を思
いうかべ、楽しく音読している。(観察)

活用の力を育てる評価の視点

- ・ 登場人物の行動を中心に想像を広げながら
読み、飛び乗ることができたわけを考えて発
表している。(記述の点検、発表の観察)
- ・ 語のまとまりに気を付けて、登場人物の
様子を想像したりしながら声に出して読むこ
とを楽しんでいる。(行動の観察)
- ・ 子どもたちの様子を想像して、吹き出しに
書いている。(まとめの評価)

HOME

授業展開例へ

単元の流れへ